

# 沖縄FTZと中継貿易の展望

高良 守



高良守氏

ため議論されたことは沖縄で生まれ育った私にとつてこれほど誇りに思うことはない。

今こそ県民自身が沖縄

大田昌秀知事の代理署名拒否をきっかけに、沖縄米軍用地の跡地利用問題や国際都市形成構想の問題に対してこれまでに大学の有識者や企業家たちの間で経済問題に関する多くの議論が県内の両紙面やテレビ等のメディアを通じて激しく行われてきた。

多くの大学の先生方や事業家・企業家の方々が、豊かな沖縄を目指す

角度から、また具体的に問題点を洗い出し、さら

▷ 1 ◁

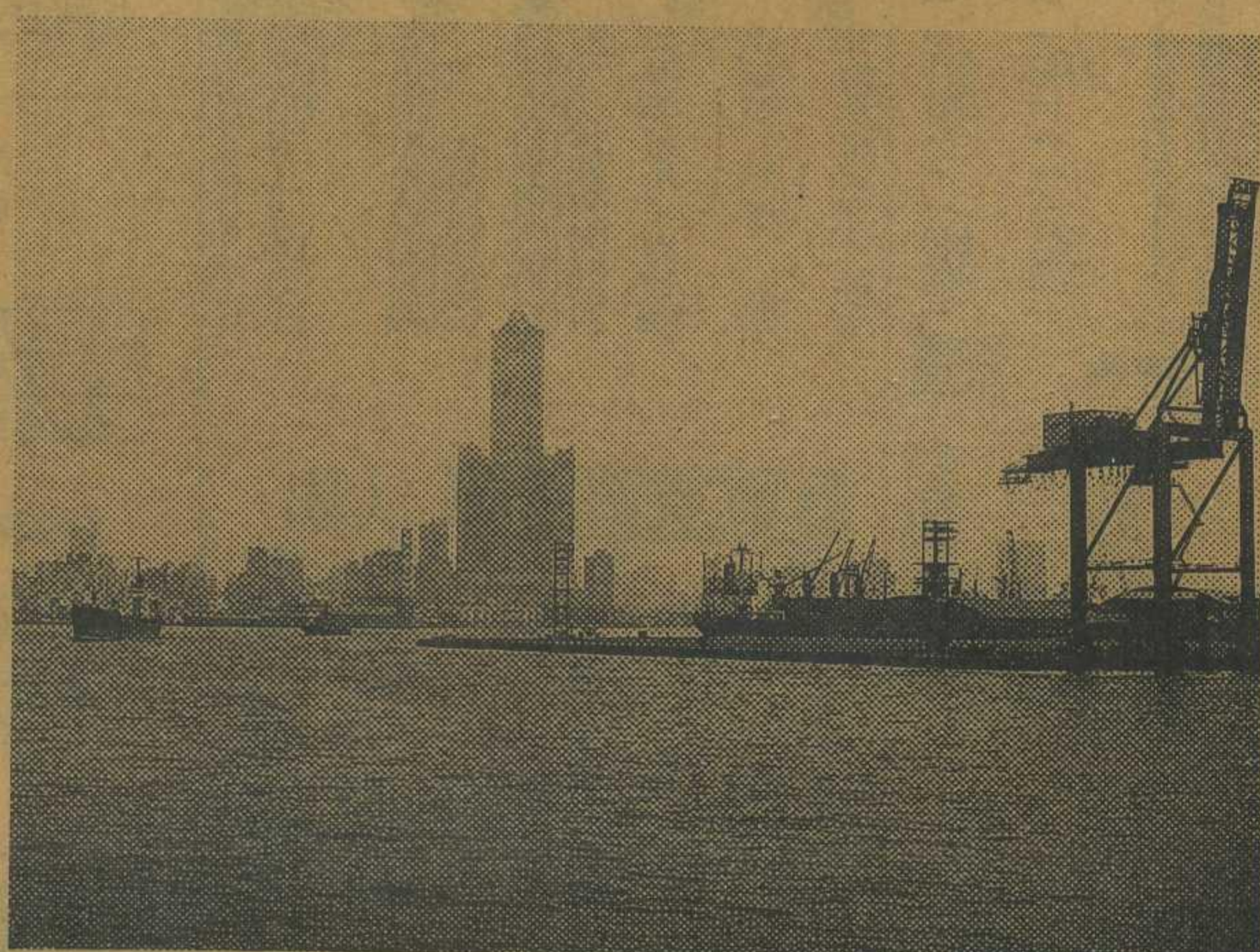
## 不完全な「法的整備」

### 海外の制度と大きな隔たり

とはできないのであろうか。本稿はあくまでも現行制度の下での沖縄の経済発展の可能性のための比較優位性を実際のデータを用いて検証し、その上で、沖縄の経済発展もしくは活性化のための必要条件である制度やインフラ整備・施設等の導入を提案する。

に九七年七月以降(香港返還後)の沖縄における比較優位性を検討するとともに中継貿易の可能性を論ずる。

沖縄自由貿易地域(FTZ)は現行制度や現状のインフラでは、その設置目的を一役でも担うこ



輸出加工区を背後に抱える台湾・高雄港

課せられることはなく、その地域(域内)に出入りする外国貨物に対して関税が課せられない」というところに特徴がある。沖縄自由貿易地域は、自由貿易を可能にせしめるための独自の「法的整備」が完全でないとい

(琉大大学院学生)

文学部人文社会科学研究所に入学。

1968年10月生まれ。28歳。小禄高校、沖縄大学短大部英語学科、同大法経学部経済学科卒。96年4月、琉大大学院法文学部人文社会科学研究所に入学。